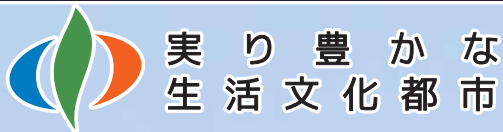


中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>



No. 45
平成29年5月1日発行

残したい風景 - ふるさとの公園からのぞむ富士の山 -



特集 新市建設計画に沿った予算可決

3月定例会で決まったこと	……P2
審議結果	……P7
市長の施政方針	……P8
一般質問に8議員	……P9
委員会レポート	……P13
6月定例会の予定	……P17
市民の談話室・編集後記	……P18

田富ふるさと公園

に沿った予算可決

当初予算から新規事業を問う

市管理の防犯灯のLED化事業について **総務課**

問 事業主体である中間事業者の条件は。

答 非営利法人が中間事業者となる。実施事業者の選定はプロポーザル方式による予定。

問 長寿命化や省エネ設計による節減効果の試算は。

答 今後の電気料金の値上げなどにもよるが、概ね2,000万円程度の経費削減の効果を見込んでいる。

小井川駅周辺整備事業について **総務課**

問 東花輪駅から小井川駅方向へ道路改良工事をしており、将来的に環状道路までつながるならば、その沿線でも良いのでは。周辺整備に対する考えは。

答 財政的問題もあるが、リニア駅に最も近い在来線駅なので、バスの乗り入れを考えロータリーの設置も検討。地元自治会の意見を聴きながら決定する。

問 公共交通事業が苦戦している中、利用を見込める試算があるのか。

答 具体的にはないが、県でも路線が検討されている。本市もリニア駅～小井川駅～東花輪駅をつなぐバス路線を県に要望しており、リニア駅に最も近い在来線駅としてバスロータリーの設置を計画する。

地域子供の未来応援交付金について **生涯教育課**

問 新年度から国より交付されるが、具体的な事業の説明を。

答 来年度は交付金を使い子どもの貧困対策のための計画を策定する予定。アンケートや各団体からの聴き取り調査を実施し、国・県の支援対策に準じた事業を検討していく。計画に基づく市独自の事業は補助対象となるので、今後は検討した事業を実施する。

討 論

【反対】

リニア建設に伴う駐輪場移転は致し方ないが、バスのロータリー整備については、利用状況が予想もつかない中で事業を進めることは、市の財政に負担を掛け、負の財産となりかねない。また、簡易水道事業特別会計への繰出金の減は水道料金値上げによるもので賛成できない。

【反対】

給食センター施設整備事業について5施設の1カ所集約に反対する。田富小中学校の給食センター若しくは玉穂の給食センターの建替えへ計画変更を提案する。

【賛成】

リニア開業を控え、在来線への交通網整備は必要。利便性を高め利用者を増やすための施策は、地方創生やまちづくりの観点からも、リニアを活用し地域を活性化させるという先を見据えた政策と捉えている。また、水道料金の値上げについては、議会として定例会において特別会計の財政状況や施設・設備の老朽化への対応を踏まえた中で、慎重に審議を重ね条例改正を議決した経緯がある。

特集

平成29年度
当初予算

新市建設計画

3月定例会に提出された「平成29年度一般会計当初予算」は、市政施行以来、過去最大の予算規模となりました。今までもお伝えしましたが、中央市では今後、リニア中央新幹線の建設や庁舎整備に伴い、大型事業が多数控えています。今後、更なる予算増が予想される中、今回の議会だよりでは、特に新規事業にスポットを当てて特集します。

128億7,800万円

前年度比 8.3%増

おもな事業

① 自治力の拠点づくり

- 市庁舎整備事業 2億9,742万円
増設庁舎の建設に係る実施設計の策定や、敷地外駐車場の設計及び用地取得、田富福祉センター解体工事に要する事業費です。
- 広報事業 3,488万円
HPのデザイン・機能性を見直し、情報発信機能や検索機能を充実。また、子育て情報を一元化し、子育てサイトや子育てアプリを導入するものです。

② 暮らしの拠点づくり

- 防犯灯管理事業 4,067万円
自治会管理の防犯灯のLED化に対する補助及び、国の補助制度を活用したリース方式による市管理の防犯灯をLED化する事業です。
- 市道3169号線歩道整備事業 1億1,297万円
生活基盤道路であり、玉穂南小学校の通学路でもある市道の整備のため、用地買収と物件補償、及び改良工事に着手するための事業費です。
- 新都市公園建設事業 3,801万円
リニア中央新幹線計画に伴う田富ふるさと公園の移転のため、詳細設計及び建物等移転補償費算定の費用です。

③ やすらぎの拠点づくり

- 母子検診事業 3,156万円
産後間もない母子に対し、宿泊型産後ケアセンターの利用助成を引き続き実施、また日帰り型産後ケア事業を新たに実施します。
- 学校施設整備事業 2億4,655万円
豊富小学校の普通教室棟及びプール施設の改築や、田富北小学校の移転に係る仮設校舎に要する費用です。
- 給食センター施設整備事業 3,536万円
施設の老朽化が著しく、衛生面でも一部基準を満たしていないことから、一カ所へ集約し、文部科学省の基準に適合する新たな給食センターを整備するものです。

④ 活力と交流の拠点づくり

- 農業振興事業 2,147万円
担い手の育成確保、経営改善支援、特産物の栽培技術支援などを実施します。また、トマトやスイートコーンなど特産農産物のPR強化にも努めます。
- 土地改良施設等基盤整備事業 1億7,487万円
農産物の生産性向上・安定供給のため生産基盤の整備や農村環境基盤の整備を実施します。

年々増額する特別会計

3月定例会は3月1日から3月17日までの17日間の会期で開催され、初日は市長提案の条例関係10案件、補正予算4案件、当初予算10件、その他2案件が提出され各委員会に付託され審議しました。また最終日にはその他1案件、人事1案件が追加提案され、審議しました。

平成29年度特別会計予算

国民健康保険特別会計	38億3,731万円 (昨年比 1.0%↑)
後期高齢者医療特別会計	2億4,287万円 (昨年比 6.5%↑)
介護保険特別会計	21億3,567万円 (昨年比 7.5%↑)
地域包括支援センター特別会計	1,359万円 (昨年比 12.1%↓)
簡易水道事業特別会計	2億1,474万円 (昨年比 18.2%↓)
下水道事業特別会計	13億4,490万円 (昨年比 1.5%↑)
農業集落排水事業特別会計	2億6,199万円 (昨年比 2.6%↑)
田富よし原処理センター事業特別会計	8,257万円 (昨年比 2.2%↑)

平成29年度上水道事業会計予算

収益的支出	2億7,742万円 (昨年比 10.9%↑)
資本的支出	3億7,899万円 (昨年比 23.9%↑)

討 論

【反対】

簡易水道事業特別会計及び上水道事業会計

本予算では、水道使用料が上っている。市民生活において、収入が増えず支出が増える社会情勢の中で、料金引上げには賛成できない。

【賛成】

簡易水道事業特別会計

移住定住策を進める重要な地域に安心安全な水を供給する観点や、特別会計として独立した健全な運営をするため、料金改定は必要。審議会においても市民の代表者などにより十分議論がされている。

上水道事業会計

災害時のための整備や、老朽化した水道管の付替えなどで財政は圧迫されている。また、地区によって料金が異なることも問題であり、料金を引き上げても甲府市の水道料金と比べると依然として安価である。

平成28年度一般会計補正予算 8,908万円を減額 総額129億4,416万円に

○総務費

豊富庁舎耐震改修工費に係る請負費 ▲1,200万円
行政事務電算化事業の備品購入費等 ▲3,765万円

○民生費

国民健康保険特別会計への繰出し ▲1,246万円
児童扶養手当 ▲500万円
児童手当 ▲2,200万円

○衛生費

予防接種委託料 752万円

○土木費

建築物耐震化促進事業補助金 ▲1,675万円

○諸支出金

財政調整基金積立金 1億336万円

平成28年度特別会計補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	▲1億9,211万円	37億334万円
介護保険特別会計	75万円	19億1,730万円
下水道事業特別会計	▲3,571万円	13億4,837万円

おもな条例案件

- 空家対策の計画や、調査・審議をするため、**中央市空家等対策審議会**が設置されます。

(中央市空家等対策審議会条例の制定)

この条例では審議会の設置や行うべき事務内容、任期や構成について定められています。条例の制定により、空家対策計画の策定や必要事項の調査・審議をするため、地域の代表者や専門家、行政関係者等を委員として構成される空家対策審議会が平成29年度より設置されます。

- 軽自動車税の**減免対象となる障がい等級の見直し**がされました。
また、軽自動車税の**税率の特例が平成29年度も継続適用**されることになりました。

(中央市税条例などの改正)

この条例改正は、国の法律改正に伴い、税条例などを改正するものです。主な改正内容として、軽自動車税に関わる改正のほか、法人税割の標準税率及び制限税率の引き下げに伴う改定なども盛り込まれています。

- コミュニティサロン事業の**利用料が変更**となります。

(中央市地域支援事業の利用料に関する条例の改正)

現状、半日の利用と1日の利用は一律1回200円と定められていますが、事業委託する中での採算ベースを鑑み、平成29年4月より、1回4時間未満の利用料は従前の200円、1回4時間以上の利用料は300円と2段階に変更となりました。

人 事

○教育委員会委員の任命について

教育委員1名の任期満了(5月16日)に伴う任命(再任)について同意しました。

教育委員 志村祐二 氏 (下三條)

第1回臨時会

新しい議会構成が決まりました

議会運営委員会及び各常任委員会並びに広報編集委員会の各委員任期の満了に伴い、平成29年の第1回臨時会が2月21日に行われ、議会構成が下記のとおり決定しました。

議 長

河西 茂

副 議 長

井口 貢

監査委員

福田清美

委員会構成 (◎委員長 ○副委員長 議席番号順)

議会運営委員会

◎伊藤公夫 ○金丸俊明 田中輝美 小池章治 名執義高 福田清美

総務教育常任委員会

◎小池章治 ○斉藤雅浩 渡辺 亨 田中 清 木下友貴 名執義高

厚生常任委員会

◎田中輝美 ○山本国臣 河西 茂 伊藤公夫 井口 貢 山村 一

産業土木常任委員会

◎田中一臣 ○田中健夫 金丸俊明 関 敦隆 宮川弘也 福田清美

議会広報編集委員会

◎田中 清 ○木下友貴 渡辺 亨 小池章治 名執義高 福田清美

平成29年第1回定例会審議結果

○賛成 ×反対 (河西 茂議長を除く)

種別	案件名	副議長	フォーラム中央							公明党	日本共産党	無所属		結果				
		井口 貢	山本 国臣	田中 一臣	福田 清美	田中 健夫	伊藤 公夫	名執 義高	小池 章治	金丸 俊明	斉藤 雅浩	田中 輝美	田中 清		木下 友貴	山村 一	宮川 弘也	関 敦隆
条例制定 改正 廃止	・中央市空家等対策審議会条例制定の件																	
	・中央市個人情報保護条例及び中央市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例中改正の件																	
	・中央市職員の育児休業等に関する条例及び中央市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件																	
	・中央市議会委員会条例中改正の件																	
	・中央市税条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・中央市地域支援事業の利用料に関する条例中改正の件																	
	・中央市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例中改正の件																	
	・中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件																	
	・中央市農業集落排水事業農林漁業資金償還金基金条例廃止の件																	
	・中央市女性ふれあいセンター条例廃止の件																	
28年度 補正 予算	・平成28年度中央市一般会計補正予算(第6号)																	
	・平成28年度中央市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・平成28年度中央市介護保険特別会計補正予算(第4号)																	
	・平成28年度中央市下水道事業特別会計補正予算(第4号)																	
29年度 予算	・一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○
	・国民健康保険特別会計予算																	
	・後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・介護保険特別会計予算																	
	・地域包括支援センター特別会計予算																	
	・簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	・下水道事業特別会計予算																	
	・農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・田富よし原処理センター事業特別会計予算																	
・上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
その他	・市道路線認定の件																	
	・市道路線廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・相互救済事業委託の件																	
人事	・教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成29年第1回臨時会審議結果(2月21日)

○賛成 ×反対 (河西 茂議長を除く)

種別	案件名	副議長	フォーラム中央							公明党	日本共産党	無所属		結果				
		井口 貢	山本 国臣	田中 一臣	福田 清美	田中 健夫	伊藤 公夫	名執 義高	小池 章治	金丸 俊明	斉藤 雅浩	田中 輝美	田中 清		木下 友貴	山村 一	宮川 弘也	関 敦隆
専決処分	・中央市税条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	・中央市監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

公平・公正を政治信条に スピーディかつ積極的に 施策の実行に取り組む

市長の

3月
定例会

施政方針

中央市長 田中久雄

各施策の進行状況

市庁舎整備

「庁舎整備室」を設置し、平成31年の完成に向け取り組みます。「増設庁舎建築基本設計」を基に、構造や設備、必要な機能など詳細に検討し、実施設計の策定を進めます。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略の推進

新しい「ひと」の流れをつくる取組みを強化し、自然や魅力を活用したスポーツイベントの開催、広域的なイベントへの参画を進めます。また、新

たな移住者を増やす取組みとして、希望者への相談体制の充実を図ります。

リニア中央新幹線を 活用したまちづくり

リニア交通政策課を新設し、基本構想を踏まえた施策の推進や、リニア効果を享受できる「まちづくり」を加速していきます。

まちづくりの基礎と なる道路網の整備

地域間の連絡を強化し、一体感ある暮らしやすい地域形成のため、「市道田富玉穂大津線」の延伸工事着手や「玉穂中央通り線」の整備などに全力で取り組んでまいります。

防災対策の強化

行政自らが被災し、人・物・情報等利用できる資源に制約がある状況でも、一定の業務を的確に行う「業務継続計画」を策定し、市民ニーズに対応したいと考えています。

第2次長期総合計画

第2次長期総合計画の策定は、28年度から2年間の継続事業で、公募委員等で構成する「中央市総合計画審議会」を開催し、29年度は本格的な検討に入っていきます。

後期高齢者 人間ドック事業

29年度から77歳と80歳になる方々を対象に人間ドックにかかる検診費用の一部を助成します。疾病の早期発見・早期治療に役立て、健康保持増進に努めていきます。

証明書自動交付機の稼働終了

3月に各庁舎設置の証明書自動交付機の稼働が終了します。これからは便利なコンビニ交付サービスをご利用いただくよう、市民に周知を行っています。

甲府市上下水道局との水道管連結

災害等非常時の水道水確保対策として、本市および甲府市上下水道局いづれかの給水が停止した場合でも、一部地域での水道水の確保が可能となります。

リニア中央新幹線

すべての沿線自治会で中心線測量が終了し、建設工事に向け作業が進んでいます。4月から「リニア交通政策課」を新設し、これらの対応に迅速に取り組んでまいります。

Q リニア駅開発を見据えた治水対策は

A 県や関係機関と調整し検討する

金丸 俊明 議員



平成26年の台風18号上陸時の神明川流域（高橋地区）

金丸議員 ① 駅近郊整備計画と開発に伴う、周辺の河川整備等の県への要望は。
② 台風18号の被害状況の検証と対策は。
③ リニア保守基地と近郊の開発に伴う神明川と下流域の治水対策は。

市長 ① 流川・鎌田川・神明川などの改修や浚渫、地域における内水の影響を考慮した治水対策を県等と調整し進めたい。
② 4カ所の道路冠水による交通規制や豊富地区2世帯の自主避難、木原地区の護岸崩落などの被害があった。神明川の葦の撤去、浚渫を実施。今年度、合流先の鎌田川のJ R 高架から上流250mの築堤護岸工事に取り掛かっている。
③ 開発に伴い遊水機能の低下が懸念される。県や関係機関と連携して対策を検討する。

▼名執義高議員
【関連質問】

A **Q**

公共施設の県産材使用は
可能な限り採用する

関 敦隆 議員

関議員 公共施設への県産材使用について、活用実績と今後の考えは。

政策秘書課長 20年度に竣工した、玉穂総合会館に県産のヒノキ・スギ材を使用した。今後、田富庁舎の増築などには可能な限り採用したい。

関議員 学校給食施設の

センター化に伴い、食中毒対策は万全か。
教育長 文科省の最新の学校給食衛生管理基準に則り、厚労省の大量調理施設衛生管理マニュアルを厳守した運営に努める。

▼木下友貴議員
▼名執義高議員
【関連質問】



県産材を使用した玉穂総合会館会議室の壁面（下部）

山梨大学医学部の先生による講演会
(玉穂中学校)



Q がん教育について A 十分な配慮の中で推進していく

田中 清 議員

田中議員 ①がん教育推進のため、医師などの専門家による特別授業等の導入は。

②不登校などで十分な教育を受けていない人たちへの対応として夜間中学の設置は。

教育長 ①「命の大切さ」の時間や生活習慣病の学習と結びつけ、外部講師の活用を推進する。②夜間中学は一市町村で設置するのは困難。需要があれば県教委に要望する。

田中議員 ①悪質な電話詐欺について、市の現状は。

②迷惑電話遮断システムの導入は。

危機管理課長 ①28年は2件700万円、29年2月には610万円の被害があった。注意喚起のための年賀ハガキを全世界に郵送した。

②操作性、費用対効果に課題がある。当面保留。

【関連質問】
▼田中輝美議員

Q まち・ひと・しごと創生
総合戦略について

A 29年度に中間評価を実施

小池 章治 議員

小池議員 ①4つの基本目標の進捗状況は。

②重要業績評価指標(KPI)の本市の特徴と評価法は。

市長 ①空き家バンクの

え、戦略の後期を着実に実行したい。

小池議員 中央市のまちづくりについて、

①空き家対策と利活用策について。

②耕作放棄地について。

③リニア駅周辺のまちづくりについて。

④新たな移住者を増やす取組について。

⑤専門的な人材配置について。

⑥農業振興地域の規制緩和について。

⑦本市に高等学校がないことについて。

市長 ①空き家対策審議会を設置、実情に応じた実効性のある空き家対策計画の策定を行う。

②農地としての活用が望

ふるさと暮らし(IJUターン)を支援する
相談窓口「ふるさと回帰支援センター」

移住希望地域ランキング

2016年	1位:山梨県	2位:長野県	3位:静岡県
2015年	1位:長野県	2位:山梨県	3位:島根県
2014年	1位:山梨県	2位:長野県	3位:岡山県

希望者の受け皿として基盤整備が必要不可欠

ましいと考えるが、農業振興地域整備計画等の見直しにおいて検討する。③本市の魅力や受入れ体制作りを進め、まちづくり計画を推進していく。④移住・定住を希望される方々に本市の魅力を積極的にPRし、情報の提供に努める。⑤職員の適正に応じた配置、長めのジョブローテーションが必要と考える。⑥計画内容によっては都市的開発で可能と考える。⑦大きな問題はなく、子育て環境への影響もあまりないと考えている。

【関連質問】
▼名執義高議員
▼福田清美議員

Q 中央市の教育について

A 市民ニーズと社会変化に対応

渡辺 亨 議員



業務削減が期待される校務支援システム

渡辺議員 ①中央市独自の教育について。
 ②国の第三期教育振興基本計画は。
 ③校務支援システム導入後の業務削減は。
教育長 ①毎年度末、各学校の「学校評価」と「中央市行政評価」を通して点検し、教育委員会としても総合的に評価、次年度以降の取り組みに反映させている。
 ②主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の推進や、時間割編成の向上等（カリキ

ユラム・マネジメント）が重視されている。学校と教育委員会が連携していくことが必要と考えている。
 ③導入1年経過時点で効果の検証を実施する。
【関連質問】
 ▼福田清美議員
 ▼田中健夫議員

Q 介護保険制度は A 見直しが必要

木下 友貴 議員

木下議員 ①国の制度改定についての見解は。状況は。
市長 ①持続可能性の観点から、利用者負担など



部活等の負担軽減が望まれる

の見直しが必要と考える。
高齢介護課長 ②昨年4月の調査で192人が入所申込み。29年度中に新設ホームが竣工の予定。
木下議員 教職員の多忙化の解消策は。
教育長 会議・研修会・調査などの効率化、外部人材の採用、事務職員との連携、部活動の負担軽減等に取り組む。

木下議員 子どもの貧困対策は。
教育長 就学援助受給世帯の生活実態や支援ニーズのアンケート調査等を実施、子どもの貧困対策整備計画を策定する。

木下議員 市の財政状況について

財政課長 健全な財政運営を維持し、市民サービスの低下を招かぬよう事業規模・コストの圧縮、地方債発行時期の平準化に取り組む。

【関連質問】

- ▼名執義高議員
- ▼宮川弘也議員



大規模な水害に備え、広域避難場所の確保を

Q 子宮頸がんワクチンの副反応は

A 被接種者に寄り添い対応

名執 義高 議員

名執議員 副反応が問題化した接種勧奨が中止となった後の本市の対応と医療支援の状況は。

市長 現状、市や県へ本市の相談・問合せはない。相談窓口を開設し、保健所や医療機関と連携し対応したい。任意接種の場合、入院相当に該当するものは、法律に基づき医療費給付の対象となる。該当しない場合は県の救済事業により給付申請が可能。副反応と認められない場合、個々の状況を確認しながら多面的な支援・救済を模索し、被接種者に寄り添った対応をしたい。

名執議員 広域避難場所や公共施設以外の避難場所は。また、災害時に有識者の知見やデータを物資輸送へ反映させる計画は。

危機管理課長 広域避難場所は山梨・静岡両県及び富士川流域市町で構成する協議会にて検討中。公共施設以外には、洪水発生時の避難場所として

市内大型商業施設3店舗と協定を締結している。【関連質問】
▼福田清美議員
▼金丸俊明議員

Q 改正年金機能強化法への対応は

A 相談体制を充実させる

田中 輝美 議員

田中議員 新たな受給資格取得者数は。また、具体的な流れと申請方法、本市の相談体制の充実強化は。

保険課長 108人。29年2月末から7月上旬に、かけて順次請求手続きの



乳がん自己検診用グローブ

書類を送付。年金事務所もしくは市役所へ提出いただく。年金機構と連携し、市民目線で適切に対応する。

田中議員 ①新生児聴覚検査について。

②産婦健康診査について。

健康推進課長 ①②市町村会に、公費助成を踏まえた検査費用の支払い事務の委託を要請している。

田中議員 乳がんグローブの導入は

健康推進課長 国などからの推奨もないため、導入は考えていない。セルフチェックや定期健診は重要と捉えており、啓発は今後も行う。

田中議員 ①女性目線での防災対策について。

②防災士の人数と活用は。

市長 ①避難所の環境整備や備蓄品への配慮に加え、女性の視点を反映した研修会等の事業も実施する。防災担当への女性職員登用も検討する。

②資格取得者は22人。自主防災組織の中核を担うことを期待している。

総務教育常任委員会

審査ポイント

空家対策の今後について

空家等対策審議会条例制定

〈政策秘書課〉

問 審議委員の構成は非常に重要。どのように考えているか。

答 地域の代表として市議会議長及び自治会長を、識見を有する方として大学教授・弁護士・宅建士及び建築士。関係行政機関の職員として警察関係者及び消防関係者を各1名、計8名を予定。

問 利活用については東京周辺の情報やニーズを熟知している事が重要だと思うが。

答 3月から空家バンクを設置、様々なニーズも確認しながら対応したい。

問 空家の実態調査の結果は。小規模修繕で再生が可能か
答 Aランクが29軒。管理が行き届いていないが、損傷も見られず当面の危険性はないBランクが103軒。今すぐ倒壊等の危険性はないが、損傷が激しいCランクが9軒。倒壊などの危険度が極めて高いDランクが16軒。

税条例等の改正

〈税務課〉

問 改正は非常に複雑だが、市民に分かりやすいようなサービスは。

答 広報を通じ周知していく。

平成28年度一般会計補正予算

〈財政課〉

問 財政調整基金の現在高は。3月補正までを含め、34億1,671万1千円。

〈管財課〉

問 豊富庁舎2階多目的ホール（元議場）のハウリング現象について、その後の対応は。

答 入口側壁面と対面の2面に吸音カーテンを今年度内に設置し対応する予定。

厚生常任委員会

審査ポイント

田富総合会館の後は

地域支援事業の利用料に関する条例改正

〈高齢介護課〉

問 利用料の額を2段階に分けた理由は。

答 実際には半日の利用と、昼食をとって1日利用出来る事業所がある。事業所に委託料を支出しているが、事業所の採算ベースを鑑み、2段階に分けた。

平成28年度一般会計補正予算

〈福祉課〉

問 田富総合会館は古く、利用者から改修や今後について心配する声を聴く。今後の修繕計画があれば説明を。

答 築後30年以上経過、耐震の問題もあり、いずれは取壊し玉穂総合会館へ統合する。ただし、まかないきれない部分もあるため、増築して1箇所を集約するというのが今現在の考え。修繕は運営する中で必要な箇所を都度行う。公共施設等総合管理計画の実施計画を策定する中で、時期も

検討する。出来るだけ早い段階で対応したい。

〈健康推進課〉

問 予防接種事業について、752万3千円減額補正の要因は。

答 対象児の減少。特に4種混合接種と小児用肺炎球菌ワクチンは各200万円の減額。4回接種するが、1回の接種料が1万円を超え高額なため、本来接種するべきだが、未接種という例は。

答 未接種の例もある。再度ハガキで通知したり、検診毎に記録を確認し、保健師が指導を行っている。

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算

〈保険課〉

問 制度改革に向けた準備は順調か。

答 県・市町村間で具体的な課題について協議中。本市でもシステム改修等の準備を適正に進めている。

産業土木常任委員会

審査ポイント 防災・安全社会資本整備交付金の活用は

平成28年度下水道事業特別会計補正予算
(下水道課)

問 防災・安全社会資本整備交付金の減額について、この交付金と下水道事業との関係は。
答 災害時のマンホールトイレに係る補助金。



田富小学校に隣接する田富総合会館に整備されたマンホールトイレ

中央市道路線廃止の件
(建設課)

問 熊之原の圃場整備事業に伴い路線廃止という説明だが、何故この時期なのか。
答 既に圃場整備事業は完了、本来は事業完了時点で廃止するべきもの。調査をするなかで判明したことから廃止を提案。

問 既に事業完了から何年も経過している。完了時点で既に道路の現況確認が出来なかったため路線廃止をするべきだったのでは。
答 その時点ですべきであったと認識している。極力こうしたことがないよう、関係部署とも連携を取りながら今後に対応していきたい。

現地視察報告

日時：平成29年3月10日 予算特別委員会終了後

場所：新布施配水場

都市計画道路 田富西通り線（田富西ランプ交差点付近）

3常任委員会合同で、上記について現地視察を行いました。

新しい布施配水場の建設状況については、これまでも議会だよりの中で経過を報告してきましたが、今年2月に完成したことを受け、改めて視察し担当課より説明を受けました。

昭和40年代の高度成長期に建設された旧布施配水場は、耐震性能がなく、設備も老朽化が進み水の安定供給が困難になりつつありました。新しい配水場に更新することで、安定した水の供給を継続的に行うと共に、災害時にも対応できるように整備されました。

田富西通り線の整備については、県職員の方に説明をいただき、整備の概要を確認しました。現状、昭和バイパスへは土手から下ることしかで

きませんが、整備によって高速道路の合流のような形につながることで、市役所方面から交差点への進入が可能となり、田富西通り線の利便性が向上します。



県職員による田富西通り線整備の概要説明

予算特別委員会

平成29年度一般会計予算

(政策秘書課)

問 子育てサイト作成業務委託及び子育てアプリ作成業務委託の内容説明を。アプリは市独自のものを構築するのか。

答 現在、関係課と連携して子育て中の母親等の意見を聴く中で検討を進めている。サイトは市のHP内に設ける予定。アプリは市単独で構築した場合の見積もり額を計上。来年2月に予定しているHPリニューアルと重なるので、その状況を確認しながら進める。

問 現在の社会ニーズは、LINE等のグループ化された情報交換が多い。子育てサークル等との情報交換についてどのように考えているか。

答 情報の共有化については、グループウェアの構築が出来るか今後検討したい。

問 (危機管理課) 環状道路周辺の新設や既存の道路は、一旦停止の標識がないなど危険な箇所が見受けられる。危険個所の把握や対応は。

答 県道部分は県が対応。隣接する市道は市が南甲府署を

通じて公安へ上申している。自主規制として、標識のない箇所への止まれの路面標示ペイントは安協や市がこれまでにも実施。安協等の要望を受け、市では現地確認を行い警察へ上申している。

(管財課)

問 公共施設等第1期個別計画の内容説明を。

答 今年度策定した公共施設等総合管理計画を具体的に進める上で、10年毎に3期に分けて個別計画を策定。施設毎に再編か保全かを分類し、方向性や劣化の評価等を定めて市民の合意形成を図るため、マネジメント計画を策定する。

(税務課)

問 新聞等で他市の状況を伺うと本市の税収が落ちていることが気にかかる。法人税についてはは大型企業の業績悪化との説明だが、今後の見通しは。

答 法人税率が12・3%から9・7%に下がったことも要因。今後については、業績が伸びている企業もあるので、社会的要因や経済状況を見据えていきたい。

(福祉課)

問 障がい者相談支援センター事業は活動に大変期待している。生活保護の中には障がいを抱えている人もおり、就労支援がなかなか結びつかない現状がある。市内の就労A、B型事業所の状況は。

答 市内にはA型事業所が2ヶ所、B型が1ヶ所。障がい者は一般就労がなかなか難しく、福祉就労の事業所を紹介することで支援している。

(子育て支援課)

問 正職・臨時職員別の保育士の人数及び、業務内容の違いについて説明を。

答 平成29年度は予算上、園長及び育休1人を除き正職員33人、臨時職員23人、再任用1人の計57人。業務内容は正職員も臨時職員も同様で、臨時職員もクラスを受け持っている。保育士確保についての対応は。

答 昨年度から総務課・財政課と相談する中で、少しずつ処遇改善を図っている。

(都市計画課)

問 玉穂中央通り線は田富玉穂大津線までの延伸が完了するまでに相当な時間が掛かる。今回、玉穂総合会館付近の点滅信号まで延伸しても、交差する東西の狭い道の整備も総合的に考えて計画しないと危険性が高まるのでは。

答 新環状南通り線として都市計画街路に定めている。整備の順序は今後検討されているが、幹線道路網整備計画にあるので、関係部署と協議し、財政事情を鑑みながら検討する。



整備される玉穂中央通り線（南部）

(農政課)

問 地域おこし協力隊事業について内容説明を。

答 3年間の雇用期間で人材を育成し、新たな農業の担い手として定住・定着を目指す。新年度より2名の受入れを計画し、1名はJA、もう1名は市内の農業法人か農業振興公社への派遣を検討する。

(教育総務課)

問 歳出では田富北小学校のリニア建設工事に係る校舎移設事業費が計上されているが、歳入では補償費が未計上。今後はJR東海との交渉において補償料は入るのか。

答 覚書を策定している段階。補償費は当初で計上していないが、現在財政課で補償関係の一覧を作成中。

平成29年度国民健康保険特別会計予算(保険課)

問 データヘルス計画について、実績など内容説明を。



ジェネリック医薬品推進の様子

答 特定健康診査や癌検診受診率の向上対策、特定保健指導等を具体的に計画し医療費抑制に取り組んでいる。特にジェネリック医薬品の差額通知を発送すること、後発医薬品への変更により月額50〜70万円程度の医療費抑制効果が出ている。

平成29年度介護保険特別会計予算(高齢介護課)

問 在宅介護の支援を進めるには医療連携が非常に重要と思われるが、市内に核となる医療機関があるのか。

答 在宅医療を担う医師は少ない。玉穂ふれあい診療所が訪問看護ステーションも運営しており、核として連携し多くの市民対応をしている。

平成29年度下水道事業特別会計予算(下水道課)

問 非常用マンホールトイレ施設整備工事について詳細を。

答 玉穂総合会館の東側に設置。男性用、女性用、多目的用を各2基。通常は駐輪場で、災害時には板を引き出し、個室をつくりトイレとして使用する。

庁舎整備特別委員会

庁舎整備特別委員会では、増設庁舎建築基本設計の概要版(案)が示され、担当課から説明を受けました。説明の中で、委員からは、災害時の緊急車両や物資搬入車両等に利用される敷地外駐車場から庁舎への経路について、迅速な対応が可能な整備をするよう指摘がありました。また、

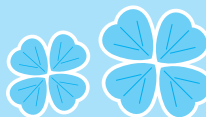
大規模地震への備えとして、構造計画の中では人命の安全確保に加え十分な機能確保が図れるよう、構造種別の選定や発電機による停電時の電力確保等の対策も確認しました。平成29年度は実施設計や法手続きも行い、平成31年の使用開始に向け準備が進められます。

リニア中央新幹線対策特別委員会

リニア中央新幹線対策特別委員会では、市のリニア活用基本構想の素案が示されました。素案の中では、本市の現状分析やリニア中央新幹線計画の概要、また、効果と影響やリニアを活用したまちづくりに向けた考え方などが説明されてい

ます。基本構想の策定後は、この構想を基に各課が連携し、リニアを上手に活用したまちづくりの具体的な計画がされていきます。特別委員会においても、状況を確認する中で、市民の皆さまへ情報を提供してまいります。

第6回 市民と議会の対話集会



テーマ 「中央市のまちづくり」について

開催日 平成29年2月2日(木)午後7時～

場 所 玉穂総合会館 2階多目的ホール

第6回市民と議会の対話集会を開催し、商工会関係者の皆さまに「中央市のまちづくり」について多くのご意見・ご提案を伺いました。

3月定例会では、ご意見を参考に一般質問も行われました。(※P10に掲載)。

おもな対話内容

質問・意見

問題はいかに土地利用がスムーズに出来るか。農振地域の解除・開発の問題がある中、空家の有効利用を検討してみてもどうか。

議会改革推進委員会での検証

土地利用を「夢のある土地利用の仕方」と捉えて取り組み、国・県を通じて運動が出来たら。移住定住の受け入れ体制、基盤づくりが必要。土地利用を進めるためにも、農業振興地域の規制緩和などの取り組みを。来年度は東京でやまなし暮らし支援センターとの連携による移住定住のPRをおこなうので、議員も一緒に取り組みたい。

質問・意見

耕作放棄地の活用を市が推進するのであれば、倒産・撤退などのリスクのある工場誘致ではなく、官公庁を誘致してほしい。東京から15分で往来出来る時代の到来に向け、何を考えるか。先祖代々の農地を守るだけでなく、道路の拡幅で土地が縮小しても価値が上るといった付加価値を見出す発展的な視点が持てるよう、市民への啓蒙も必要。難しいことに議会としてチャレンジしてほしい。

議会改革推進委員会での検証

都心の大学への通学や近隣の学校移転等の情報収集も進め、官公庁や学校施設などの誘致検討を市へも依頼をしていく。土地に関する法律は都市計画法・農振法・農地法・土地利用法・環境関係の法など一元化しておらず非常に複雑。議会としても国・県に対して色々提案する働きかけが必要。

- ◆ 議会では、これらの内容を踏まえる中で、2つの項目について市長に協議・検討していただくよう依頼書を提出しました。
- ◆ 今後も対話集会などを通じて、市民の皆様のアイデアや思いを形に出来るよう、議会活動に取り組んでまいります。

平成29年6月定例会の予定

6月議会は、次のとおりの予定となります。

1日(木)	午前10時	開 会	13日(火)	午前10時	一般質問
5日(月)	午前9時30分	総務教育常任委員会	14日(水)	午前10時	一般質問
8日(木)	午前9時30分	厚生常任委員会	16日(金)	午前10時	閉 会
9日(金)	午前9時30分	産業土木常任委員会			

※日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。

変更される場合がありますのでご了承ください。

詳細はHP等でもお知らせします。

http://www.city.chuo.yamanashi.jp/gyosei/gikai_info.php

◇ 議会は誰でも傍聴できます。(傍聴席36席)

なお、本会議は田富庁舎1階ロビーでテレビ放映します。お気軽に、傍聴においでください。



議会情報のHPもご覧ください。



市民の談話室



下成島1区
田中 正富

根性なしの日々

定年60で職場を退職してから6年ほど経った。現役時代は仕事人間だったので、両親が亡くなった後は母屋の中はガタガタのゴタゴタ、庭は草茫茫々、野鳥の糞から実生で育ったユズリハやシュロ等があっちこちに生えているような状態である。退職したら、さあ、一気に片づけようと考えていた。同級生からも「こんどは時間があるだから、さっさと片づけたらどうだ。」と言われた。しかし、その時になってみると、現役時代からの付き合いや、何やかやで次から次へと人から頼み事を引き受ける羽目になり、なかなか家に引っ込んでいられない。たまに家に落ち着いているときがあると、今まではこういう時こそやらねばと思っていたのに「まあいいか。次だな。」と“ずく”をやむようになってしまった。「親が苦勞して築いてきたものを、息子がていたらくで潰しちゃっている。」なんて言われそうな感じである。「こんなことで良いずらか」とはちっとは思っているが、なかなか腰があがらない。弱ったもんだと感じるこの頃である。



浅利
五味 正治

うつりゆく景色

私は浅利地区でスイートコーンを主に各種野菜を栽培する専業農家です。

当地の熊野原から眺める景色は、旧勝沼方面から旧鯉沢方面までが展望できます。中央市の景色も20年前は山梨医大が目を引きましたが、今は前を走る環状線を眺めながらリニア中央新幹線の駅と高架橋を想像しています。

当地の農村風景も大きく変わっています。40年前は全国有数の養蚕地帯で、見渡す限りの桑畑が広がっていましたが、生糸相場の低迷により養蚕から野菜・果樹へと転換しました。30年前の景色は笛吹ラインを走るとキラキラと白波のようにスイートコーン・野沢菜のトンネルが目に見えました。今はトンネル栽培も激減し不耕作地が増加しています。

中山間地の農業環境は厳しいと実感しつつ、孫から「じいちゃん、もろこし食べたい」の声を聞きながら継続できる農業に取り組んでいます。

編集後記

木々の芽だちに春の息吹を感じる季節となりました。3月議会では過去最大の予算審議が行われました。新庁舎建設、リニア開業に伴うまちづくり等さまざまな課題を抱え、これから中央市は大きく変わろうとしています。

日本の中で、一番住みやすい、住みたい県No.1が「山梨県」、そして体で例えれば、中心にある「へそ」の部分である「中央市」は、これから増々発展し、子育てしやすく、若い世代が移り住みやすく、人に優しい街づくりを目指し日々取り組んでいるところです。

議会だよりも新しい編集委員のもとで、透明性のある議会を目指し、より分かりやすくお伝えできるよう努力してまいります。これからも、市民の皆さまの「お声」を大切にしていきたいと考えています。

〔田中 清〕

議会
編集
委員会
広報

委員長 田中 清
副委員長 木下 友貴
委員 渡辺 亨 小池 章治
名執 義高 福田 清美